

排水溝はつまっていませんか？ 排水を促し、播種に備えましょう

6月中旬から降雨が続いており、大豆の播種遅れや滞水しているほ場が多く見られます。播種が遅れていても、急いで無理に播種をせず、天候が回復し、ほ場の準備ができてから播種を行いましょう。

<排水対策>

土壤水分が高い状態で無理に播種をすると、発芽不良につながります。排水溝が麦わらや草、土などで詰まっていないか確認し、詰まっている場合は、できる限り取り除き、排水を促しましょう。



<播種時の注意点>

播種の遅れを挽回するため、以下の点に注意して下さい。

- 播種時期は、できる限り7月末までに行う。
- 播種深は3cm程度とし、深播きは避ける。
- 播種量は1～2割増やす。

播種量が8kg/10a以上確保できる場合は、狭畦無中耕・無培土栽培（密播栽培）への切り替えを検討する。